

## 令和6年度（令和5年度実施）北九州市公立学校 教員採用候補者選考試験の実施について

### 1 令和6年度（令和5年度実施）試験での変更点

**(1) 試験区分「小学校教員（小中一貫枠）」の採用予定数の拡充**

小学校（小中一貫枠）の採用予定者数を拡充する。

R 5	採用予定者数	志願者数	最終合格者数	志願者倍率
小学校（小中一貫枠）	5名	62名	25名	2.5倍

(案) R 6	採用予定者数
小学校（小中一貫枠）	20名程度

※ 採用予定数については、例年実施年の4月に最終決定する。

**(2) 特別選考Ⅳ「大学等推薦特別選考」における各大学の推薦可能人数の拡充**

小学校、特別支援学校の推薦可能人数の制限を撤廃し、推薦可能人数を拡充する。

【推薦の対象となる校種等（教科）及び各大学等からの推薦可能人数】

○ 小学校	<div style="border: 2px solid red; padding: 2px; display: inline-block;">上限なし</div> ←拡充
○ 中学校（全教科）	各教科2名以内
○ 特別支援学校（小学部・中学部）	<div style="border: 2px solid red; padding: 2px; display: inline-block;">上限なし</div> ←拡充

**(3) 特別選考「複数免許状所有者特別選考」における資格要件の拡充**

特別支援学校教員のうち、特別支援学校教諭一種または専修免許状所有者に限り、小学部においては、小学校教諭普通免許状を、中学部においては、中学校教諭普通免許状を所有する者又は受験日の属する年度内に取得見込みの者を対象に追加する。

試験区分	特別選考の対象となる免許状	併願先となる試験区分
小学校教員	中学校教諭普通免許状	中学校教員(所有する免許教科)
	特別支援学校教諭普通免許状	特別支援学校小学部教員
中学校教員	小学校教諭普通免許状	小学校教員
	特別支援学校教諭普通免許状	特別支援学校中学部教員
特別支援学校教員	小学校教諭普通免許状 ※ 但し、特別支援学校教諭一種又は専修免許状所有者に限る	小学校教員
	中学校教諭普通免許状	中学校教員(所有する免許教科)
	小学校教諭普通免許状	小学校教員
	中学校教諭普通免許状 ※ 但し、特別支援学校教諭一種又は専修免許状所有者に限る	中学校教員(所有する免許教科)
養護教員	看護師免許	

↑  
拡充

(4) 小学校教員及び特別支援学校教員（小学部）の第二次試験（実技試験）の廃止

小学校及び特別支援学校（小学部）の第二次試験（実技試験）の英会話実技試験を廃止する。

(5) 小学校教員及び特別支援学校教員（小学部）における一定の英語力を有する者への優遇措置の導入

小学校教員及び特別支援学校教員（小学部）において、特定の資格を有し、希望する者については、一次試験において優遇措置（加点）を受けることができる制度を導入する。

必要とする資格等	優遇措置	
実用英語技能検定準1級以上合格者、 TOEFL (iBT)80 点以上取得者、TOEFL (PBT) 550 以上取得者、 TOEIC730 点以上取得者又はこれらと同等の資格を有する者 ※ 対象は平成30年4月1日以降に資格取得した者に限る ※ TOEIC IP 及び TOEIC BRIDGE は、対象外	1 次試験	教職教養の 得点に配点の 10%程度を 加点
実用英語技能検定2級以上合格者、 TOEFL (iBT)42 点以上取得者、TOEFL (PBT) 440 以上取得者、 TOEIC550 点以上取得者又はこれらと同等の資格を有する者 ※ 対象は平成30年4月1日以降に資格取得した者に限る ※ TOEIC IP 及び TOEIC BRIDGE は、対象外	1 次試験	教職教養の 得点に配点の 5%程度を 加点

## 2 試験区分、教科、採用予定数

試験区分	教科	採用予定数
		○一般選考 ○特別選考 Ⅰ「教職経験者特別選考」 Ⅱ「教職大学院修了者特別選考」 Ⅲ「大学等推薦特別選考」 Ⅳ「社会人特別選考」 Ⅴ「複数免許状所有者特別選考」 ○障害者特別選考
小学校教員 ※幼稚園教員を含む 小学校教員 (小中一貫枠)		<div style="border: 1px solid black; padding: 10px; text-align: center;"> <p>※採用予定数は4月下旬までに「北九州市教員採用情報専用サイト」に掲載予定</p> </div>
中学校教員	国語	
	社会	
	数学	
	理科	
	音楽	
	美術	
	保健体育	
	技術	
	家庭	
	英語	
	計	
特別支援学校教員	小学部	
	中学部	
養護教員		
栄養教員		
合計		

## 3 試験日程等

### (1) 第一次試験

①期日：令和5年7月9日（日） 場所：九州国際大学（予定）

内容：筆記試験（教職教養・専門試験）

※ 特別選考受験者については、第一次試験を免除とする。

### (2) 第二次試験

期日：令和5年8月上旬～中旬

場所：思永中学校（予定）

内容：模擬授業・集団討議

個人面接

実技（中学校…理科、音楽、美術、保健体育、英語）

※ 特別支援学校中学部教員（理科、音楽、美術、保健体育、英語）の志願者のうち、各教科の中学校教員を併願する者については、それぞれ実技試験を課す。

※ 特別選考Ⅴ「複数免許所有者特別選考」の受験者については、併願先となる試験区分の実技試験を課す。

#### 4 選考区分及び受験資格

選考区分	校種、職種、教科	主な受験資格	
一般選考	小学校教員 中学校教員 特別支援学校教員 養護教員 栄養教員	○令和6年3月31日現在において、満59歳以下で、受験する校種、職及び教科の教員普通免許状を所有する者又は受験日の属する年度内に取得見込みの者〔注1参照〕	
特別選考	教職経験者	一般選考と同様	○令和6年3月31日現在において、満59歳以下で、受験する校種、職及び教科の教員普通免許状を所有する者のうち、次のいずれかに該当する者 ・現に小学校、中学校又は特別支援学校の正規教員として勤務している者 →別日程で試験実施 ・過去5年間で、小学校、中学校又は特別支援学校の正規教員として通算1年間以上の勤務経験がある者 ・過去5年間で、北九州市立学校の常勤講師、非常勤講師、養護助教諭又は栄養代理職員として通算1年間以上の勤務経験がある者
	教職大学院修了者	一般選考と同様	○令和6年3月31日現在において、満59歳以下で、受験する校種、職及び教科の教員普通免許状を所有する者のうち、学校教育法の規定に基づく教職大学院を修了した者又は受験日の属する年度内に修了予定の者
	大学等推薦	小学校教員 中学校教員 特別支援学校教員	○令和6年3月31日現在において、満59歳以下で、受験する校種、職及び教科の教員普通免許状を所有する者又は受験日の属する年度内に取得見込みの者のうち、次の要件をいずれも満たす者 ①北九州市立学校教員を第一志望とし令和5年度の採用を希望すること。 ②学業成績が優秀であり、かつ本市の教員として優れた実践力を発揮することが期待できること。 ③令和6年3月31日までに「推薦が可能な大学等」〔注2参照〕で定める大学等を卒業見込または修了見込であること。
	社会人	一般選考と同様	○令和6年3月31日現在において、満59歳以下で、受験する校種、職及び教科の教員普通免許状を所有する者又は受験日の属する年度内に取得見込みの者のうち、次のいずれかの要件を満たす者 ①過去5年間で、民間企業等の社員又は職員として、継続して3年間以上の勤務経験がある者 ②独立行政法人国際協力機構法の規定に基づく JICA 海外協力隊として、継続して2年間以上の派遣経験がある者
	複数免許状所有者	小学校教員 小学校教員(小中一貫枠) 中学校教員 特別支援学校教員 養護教員	○令和6年3月31日現在において、満59歳以下で、受験する校種、職及び教科の教員普通免許状を所有する者又は受験日の属する年度内に取得見込みの者のうち、別に定める特別選考の対象となる免許状を所有する者又は受験日の属する年度内に取得見込みの者
障害者特別選考	一般選考と同様	○一般選考の受験資格を有する者で、次のいずれかに該当する者 ①身体障害者手帳の交付を受け、その障害の程度が1級から6級までの者 ②精神障害者保健福祉手帳の交付を受けている者 ③療育手帳の交付を受けている者	

地方公務員法第16条及び学校教育法第9条の欠格条項に該当しない者

注1 特別支援学校教諭免許状については、視覚障害者、聴覚障害者、知的障害者、肢体不自由者、病弱者に関する教育のうちいずれか1つが必要

注2 推薦の対象となる校種等(教科)の教諭一種普通免許状取得の課程認定を受けている大学または教諭専修普通免許状取得の課程認定を受けている大学院もしくは教職大学院

## 5 実施要項等の公開及び志願書の受付期間

### (1) 実施要項等の公開

令和5年4月3日（月）に「北九州市教員採用情報専用サイト」に掲載

### (2) 志願書の受付期間

令和5年4月3日（月）～令和5年5月31日（水）※15時まで

※ 原則、電子申請での出願とする。電子申請が利用できない場合は、個別に郵送等にて対応する。（郵送の場合は、受付期間最終日の消印有効）